



生徒会紹介



左から 副会長 鶴林 眞子さん
 生徒会長 野中 綾仁さん
 会計 古賀 百華さん



私が生徒会長に立候補した理由は、久高生全員が主体性を持ち、自分から行動できる人になるため、そうした人になりやすい環境をつくるためです。そのためには、まず私が久高生の模範となるような行動を心がけています。久高生の上に立って指示をしいるのではなく、久高生を下から支えている立場であるということを忘れず、日々邁進していきます。「いい人、りひと、野中綾仁です。」というキャッチフレーズを名刺を覚えて頂いたら光栄です。これからもよろしくお願ひします。



全九州高等学校 剣道競技大会出場
 谷 洗毅さん

全九州高等学校 体操競技大会出場
 轟 梨世さん



九州大会に臨むにあたって大変だったことは、日程が考査と被り、練習時間がとれず、練習では技がなかなか成功しなかったことです。しかし、当日は失敗していた技も成功し、ミスすることなく演技することができて嬉しかったです。11月にある新人戦では、前回より良い結果を出したいです。

3学年 学年委員会

進路講演会

3学年副委員長 村井 麻木



7月8日(土)PTA主催の進路講演会を開催しました。最初に主幹教諭の山浦浩之先生より昨年度のデーターを活用しながら、「入試本番に強い生徒をどう育てるか」具体的な学習姿勢の確立や役割を教わりました。次に進路指導主事の河野眞子先生に進路実現における今後の流れの説明を受けました。
 親である私たちは目先の結果にばかりとらわれがちです。子どもたちの日々の頑張りを認め、褒め、励ましながら入試本番を子どもたちが最高の状態で迎えられるように先生方とスクラムを組んで見守っていききたいと思います。

研修委員会

視察研修 in 九州大学

研修委員会委員長 奥村 豊彦

9月27日、保護者と先生の計58名で九州大学視察研修を実施しました。建設費中の伊都キャンパスにおじゃましました。九州大学は、あらゆる分野でトップクラスのキャンパスです。1・2年生は、このキャンパスで基礎教育を学び、3年生からは各キャンパスに分かれて専門分野に進みます。出迎えてくれたのは久留米高校卒業生の4人です。卒業生と一緒に椎木講堂や学話館の本系ステーションの見学、そして卒業生との座談会、保護者が一番知りたかったどんな大学勉強をしたか、キャンパス内の様子、大学生活など質疑応答がありました。視察して大学の雰囲気や卒業生の説明が進路を考える上で参考になりました。



1学年 学年委員会

進路講演会

1学年委員長 名嶋 雅子

9月2日に進路講演会を行う為一年役員さんたちと久高の先生方と話し合いや情報交換をしながら準備をすめてきました。ベネッセの北村俊夫先生の講演は、アンケートの結果からも進路について考える良い機会となったようです。保護者の参加は、107名と多く保護者の意欲の高さを感じました。その後のクラスごとの懇談会は、自己紹介から始まり日頃の悩み等を共有できる場となりました。我が子たちの毎日の生活が充実した日々となるよう私たち親もつながり支えあって子どもたちの事を応援していきます。最後にこの場をかりて先生方、役員の方さん一年生保護者の皆さん、ありがとうございました。そしてこれからもよろしくお願ひします。



国際交流委員会 ウェルカムパーティー

国際交流委員会委員長 前田 瑞穂

7月15日(土)に、1・2年生の英語科クラスの生徒と久留米近郊に留学中の生徒10名を迎え、ウェルカムパーティーが行われました。司会の女子生徒3名は浴衣に着替えて、交流会を盛り上げ、ゲームをしたり、クラスの出物をしたりと、ほとんど英語によって進められました。また、七夕の短冊を書いて結び付けて、日本の伝統的な行事も伝えることができました。
 終始、和やかな雰囲気の中で交流ができて、とても貴重な一時間が過ごせたと思います。



修学旅行 in CANADA



1組 稲富 里穂

久留米高校に来る前から楽しみにしていた最大のイベント修学旅行に行ってきました。いざ行く1週間前になると、様々な不安が込み上げてきましたが、とても有意義な時間を過ごすことができました。特に英語科は、8日間という長い期間を準備していただいて本当に思っていますと実感しました。私が一番印象に残っていることは現地校との交流です。日本の学校では体験できない海外の映画のような雰囲気でのパーティーと過ごした2日間は一生の宝物です。



2組 西岡 祐哉

私は修学旅行で少しだけ成長できたと思います。私はこれまで見知らぬ人との会話が苦手でした。しかし、今回カナダに渡り、その壁を壊すことができたと思います。日本では滅多にない英語で話す機会に私は積極的になれました。ホストファミリーはもちろん、現地の青年にまで自分から話しかけました。聞き取れない、分からない言葉は山程ありましたが、それでも話す事を心から楽しめました。だから、カナダを深く知り、好きになる事ができました。そして、異なる文化に触れたからこそ、改めて日本のことも、今まで以上に好きになれたと思います。



6組 毛利 優美

私たちにとって、今回の修学旅行は初めての団体行動であり、また初めての海外という人も多く、不安が九割、楽しみが一割という感じでした。
 ホームステイでは、英語の知識とともに、積極的にコミュニケーションをとることの大切さ学びました。私は今まで、英語は試験や将来の仕事のために必要なものであり、英語を書くことがメインになっていましたが、今回の経験をふまえ、話すための英語にも力を入れ、これからも勉学に励みたいと思います。



第67回 全国高等学校PTA連合会大会 in 静岡

「静岡大会」に参加しました!

8月24日(木)・25日(金)、静岡県で第67回全国高等学校PTA連合会大会が「有徳の人」づくり~未来のために行動する一人を育てよう~をテーマに開催されました。
 少子高齢化、経済のグローバル化、情報社会の進展など、大きな変革の時代を迎えていると同時に、様々な課題も抱えている現代に求められるのは、地域の、日本の未来のために行動する「徳」を備えた人材です。そんな「有徳の人」を育てるために、私達PTAが、お互いに学び、交流し語りあひながら絆を深めていくことが大事だと思いました。



静岡県小笠山総合運動公園エコパークにて

編集後記

「不壊90号」を発行するにあたりたくさんの方々の協力を頂き、心より感謝しています。
 久高祭では、1年生の皆さんの合唱に感動し、さらに合唱を聴いて涙する生徒や聴く姿勢をみて久高生らしさを感じることができました。他にも様々な部活動の頑張っている姿が目に見えています。いい経験をさせて頂きありがとうございます。
 これからも久高生の皆様様の成長を楽しみにしています。

家庭教育とPTA

大切な人に感謝を伝える取り組み、文化祭で模擬店を出店する取り組み、地域との連携で行っている清掃活動から、保護者同士の繋がりがだけでなく、子ども達や学校とのコミュニケーションの機会も深まり、それぞれが楽しんでいると感じました。

ネットトラブルの予防と対策

子ども達が上手にネットを使いこなすために保護者の方の関わりが大事。正しいリスク認識、家庭でのルール作り、フィルタリングの意義等、保護者の意識を高めることが重要で、身近なトラブルの予防と対策を日頃から、子ども達と話し合う必要があると思いました。



記念講演「眞 利夫 これがオレの生きざまだ!」